

つくばね vol.25no.4

目次

- I 集え！ 知の広場へ。
 - 3 シリーズ・電子ジャーナル(4)
 - 5 図書館便利マップ
 - 8 附属図書館開館日カレンダー
 - 9 Ask Us としょかんミニガイド
- II 私の一冊
 - I2 本学教官寄贈著書紹介
 - I2 とびっくす
 - I2 掲示板

集え！ 知の広場へ。

筑波大学が伝えた、前身大学の伝統、
いやその前の、湯島聖堂の宝物を見ようではないか。

守屋 正彦

私は美術史学を学ぶものである。とくに日本美術史、中でも近世近代の絵画史を中心に、表現を通しての我が国の文化を考え、また制作する作家やその作品を通しての文献に見られない時代精神を探る。このように述べると、美術を通して日本人の事物の捉え方を悩みながら考察している高邁な人間像を想像されがちであるが、実際には日々教育と研究に追われ、自らに課した研究テーマが十分に消化できない、目の前のことに悩む学生と同様の一学徒である。

それゆえ、私は図書館をこよなく愛す。生来、研究が体質に合わないためか、はたまた、ああでもないこうでもない論文に悩むと、気がつけば図書館の図書に触れることで、妙な安堵感を得ているのである。そんなわけであるから、学生には「図書館を十分に活用することができるならば筑波へ来た幸せを感じるであろう」と言いふらし、自身の指導を棚上げして、「図書館の機能を利用せよ」と責任転嫁の態である。

筑波大学の図書館は開架率100パーセント。学生も全国の大学では類稀のこのサービスを十分に活用させていただいている。...らしい。研究室に所属した学生は美術館や博物館の学芸員として巣立つ。送り出した学生が年賀はがきに一言、「先生の言うとおり、筑波の図書館はすごいですね。もっと利用すべきだった。」

図書館にはいい制度がある。所蔵していない本の場合、レファレンスサービスが迅速であり、2、3日で、そのコピーが手にはいる。時に、「コピーに、見づらい箇所があります、クレームしますか。」と親切である。私は居ながらにして論文を書くことができ、随分助かったのだ



朱子像（筑波大学附属図書館蔵）

る。学生諸君，図書館を利用して存分に旅費を浮かそうではないか。

ところで，このようにノコノコと図書館に出入りしている私は，2000年の今年，5月，同僚の教官とともに，筑波大学を当番機関として美術史学会全国大会を開催することになった。美術史学では最高の学会であり，おかげさまで大学からは後援の名義もいただき，学内の協力が可能になったのである。

大会には全国の大学の研究者，行政の文化財担当職員，美術館・博物館の館長や学芸員など所属の会員が一堂に会す。このときには研究発表や討議の合間に，学内を楽しんでもらう時間がある。ただ大学周辺の散策となると筑波は広い。学内で見学できる場所は何処であろう。美術史学者はビジュアルである。やはり美術品が見たい。筑波に来たら，科学はあっても文化がないとは言わせたくない。これは美術史に携わる者としての私の見栄である。

そこで「図書館の貴重な美術資料を学会期間中に貴重書展示室で公開できないだろうか。」と内緒話に行ったのである。私のこの注文に図書館では「筑波大学には，昌平坂学問所に伝わったというか，湯島聖堂の礼拝像がありますが」とのこと。早速それを見たいとお願いしたら，大学図書館がインターネット上に公開しているきれいな図版を即座に拝見できたのである。私はどうもメカに弱いせいか，初めて図版に接し，そしてその精緻な画像に驚いた。まだ実験段階と言うが，このサービスはこれからのユーザーには是非必要なものになる。少なくとも，図版に学ぶ私のような者にとってはとても大事なサービスである。

さて，話がそれたが，画面に現れた画像は「朱子像」。林羅山が京で有名な絵師，狩野山雪に描かせた肖像で，江戸幕府が開かれて間もない頃の逸品である。図書館には朱子以外にも宋時代の儒者の肖像があり，あわせて六幅。「歴聖大儒像」として大学に伝えられている。新構想の大学といっても歴史は古い。もともと筑波大学の前身は今の湯島の地，学問所の跡に設立された。故に茗溪，そこにはじまるのである。

この画像を拝見したとき，江戸の漢学の伝統がいま筑波に伝えられている。すばらしい文化財である。見栄っ張りの私は即座に同僚の教官の同意を得て「学会にあわせて特別展観をお願いします」と申し込みをしたのである。5月下旬の学会の折，筑波大学の貴重な財宝を公開したい。我が大学の伝統を示し，そして文化を喧伝したい。

図書館は即座にこの開催を芸術学系との共催ということで計画してくれることになった。私がお願いした折には体育科学系との共催の特別展「身体と遊戯へのまなざし」がはじまったところであった。ちょうど図書館が教育学系を振り出しに2年前から共催事業をはじめられたので，そのような実績があることから誠によき機会を得たのである。

ところで，私が『つくばね』から執筆を依頼されたテーマは「研究と図書資料の使い方」。依頼原稿は，自身の研究との関わりで書くのが常套句であろうが，私のように美術品を扱う者にとっては「見るのが命」。ビジュアルなことも図書館にお願いするのである。これが私にとっての如上のテーマでの執筆と，編集の方には寛恕願ひ，小さな見栄からはじまったことであるが，図書館からのこのような助力をいただいたことに感謝している。学会諸氏もこの貴重な文化財を拝見でき，大学の内外にこだわらず，学ぶ者の多くが学習の機会を得たことになる。まさに広い意味での「研究と図書資料の使い方」と私は嘯くのである。

話はちょっとそれるが，教育学系との共催展も，体育科学系との特別展も，美術史を学ぶ私にはずいぶん参考になった。また図書館が開催した特別展「幕末・明治の生活と教育」もそうであった。教科書＝図書と単純に括ってはならない貴重な研究資料が展示してあった。美術的な観点から言うならば教科書には挿絵が必ず見られ，また錦絵も展示され，明治期の教育がビジュアルな学習環境であったことを示していた。美術教育的見地，また開化期あるいはその後の近代教育のテキストに掲載の図案や絵画などが近代社会にどのように反映したのかを芸術上の文化学として探るなど，拝見しながらいろいろな研究テーマが開け，学系を越えた学際的空間がこれから用意できるの

ではないかと思ったのである。

話が大袈裟になってしまった。大学所蔵の「歴聖大儒像」6幅に戻ろう。これらは江戸初期の肖像画研究をする上で貴重である。そして画像は礼拝の用にあてられたが、江戸漢学教育の主流、儒学の象徴であり、テキストのビジュアル化でもある。展覧会の宣伝になるが、この機会に、教職員ならびに学生諸君、中央図書館の貴重書の展示室で、学問所の、湯島聖堂の遺宝を見ようではない

か。とくに学生諸君、筑波大学が伝えた江戸の教育的財宝に触れ、大学コレクションとその伝統に誇りを持ち、社会に出て欲しい。

あ、どうも、また悪い癖で私は図書館を利用して学生を教育している。さても、このような展示環境を得ることはよその大学図書館ではなかなかあり得ないこと、私は図書館を存分に活用させていただいている。

(もりや・まさひこ 芸術学系助教授)

シリーズ・電子ジャーナル(4)

より良い医療の実践に必要な電子ジャーナル

高田 彰

1. はじめに

「シリーズ・電子ジャーナル」も今回で4回目となるので、電子ジャーナル利用を現実的な課題と関連させて紹介してみたい。とりあえず今回は「良い医療」と電子ジャーナルはどのように関連するのであろうか? という視点で考えてみよう。

2. EBM (Evidence-Based Medicine)

「良い医療」とはどのような医療であるかを明確に定義することは容易ではないが、最近注目されているキーワードのひとつにEBM (Evidence-Based Medicine) がある。EBMは「入手可能で最良の科学的根拠を把握したうえで、個々の患者に特有の臨床状況と価値観に配慮した医療を行なうための一連の行動指針」と理解される(福井次夫編『EBM 実践ガイド』医学書院, 1999年)。正しい科学的な根拠を基に医療を行なうというのはあたりまえとはいえ、実際には、偶然性の強い個人的な経験や観察、あるいは客観的なデータに基づかないエキスパートの直観に依存した医療から脱却することは容易ではない。体系的に観察・収集され、第三者によって客観的に評価されたデータに基づく医療への転換は、臨床疫学という学問領域の発展と共に浸透してきたものの、ここ数年はEBMという言葉の魅力もあり、医療の急激なパラダイム・シフトを引き起こしつつある。

このパラダイム・シフトを促している要因の一

つは、インターネットの発展と普及が医療の現場にも及んできたことにある。この半世紀にわたって世界中で実施されてきた膨大な数のランダム化比較試験の結果は、最も妥当性と信頼性の高い根拠を提供するデータとして医学情報データベースに蓄積されてきた。このデータを、インターネットの普及により、医療関係者は医療の現場において必要に応じて容易に利用することが可能となったのである。さらに電子ジャーナルの普及により、その情報の流れはより速く太いものとなった。たとえ夜中の2時であっても、病院情報システムの端末を利用すれば、必要な情報の検索を行い、必要な文献の全文を、付随する図表等を含めて入手し、直ちに患者さんの治療内容にその情報をいかすことが可能となる。

医療の現場において、必要な情報を迅速に入手し、利用できる情報環境を整えることは、良い医療を実践するために必須であり、各医療機関においても重要な課題となっていると言えよう。電子ジャーナルにより、EBMへの流れは今後より急速に進展することが予測される。

3. 電子ジャーナルの利点とその利用

電子ジャーナルは、印刷や郵送を必要とする冊子に比べていくつもの優位点がある。速報性に優れること、全文検索などの検索機能に優れること、関連論文の参照が容易であったり著者に電子

メールを送るなどの発展的な機能に優れること、得られたデータを電子的に再利用することが可能であること、などがあげられる。

電子ジャーナルを利用することは考えているよりもずっと簡単であり、筑波大学の図書館に設置されている電子図書館システムの端末を使えば苦勞がないし、図書館の職員が優しく使い方を教えてくれる。

4. 電子ジャーナルの提供形態とアクセス管理

電子ジャーナルの提供形態としては、出版元が独自のサービスとして提供する場合や、複数の各出版元を束ね、2次情報との連携をつけながら総合的なサービスとして提供する場合などがあり、多くの場合、基本的には契約を行なって利用する有料サービスとなっている。もちろん、無料で利用できるサービスも存在するが、利用できるジャーナルの数は限定されていたり、利用できる期間や利用可能な情報の範囲が限定されている場合が多い。しかし、筑波大学のキャンパスから電子ジャーナルを利用する場合は、図書館が面倒な契約等を一手に引き受けて、可能な限り利用者にやさしい利用環境を整備してくれているので、全くもって安心である。

通常正規の申請者のみが利用できるサービスでは、ユーザのアクセス管理を、パスワード方式またはIPアドレス方式で行なっている。パスワード方式では、ユーザーIDとパスワードの組み合わせによって、ユーザーを識別している。IPアドレス方式では、利用者の端末に割り当てられたIPアドレス(インターネット上の番地のようなもの)により、ユーザーを識別している。

筑波大学のキャンパスから電子ジャーナルを利用する場合は、基本的にはIPアドレス方式でユーザ管理が行なわれているので、各利用者がユーザーIDやパスワードを管理する面倒がないが、自宅から民間プロバイダーを介してアクセスしたりすると、利用者権限が認められずアクセスできないということになる可能性があるので注意が必要である。

5. 電子ジャーナルをさがす

a) リンク集を使う

電子ジャーナルを捜す場合には、電子図書館で整備しているリンク集を用いるのが簡単であり、利用可能となっている電子ジャーナルを簡単に把握できる。

<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/online-j/>

国内で作成されているリンク集としては、北海道大学図書系職員による研究会によって作成・維持されているリンク集

http://ambitious.lib.hokudai.ac.jp/online_journal/

が最も規模が大きい。これ以外に、Links to the Top 500 Science Journals

<http://intl.highwire.org/top/journals.dtl>

Free Online Full-text Articles

<http://intl.highwire.org/lists/freeart.dtl>

などあるので、参照したいジャーナルが明らかである場合は、これらのリンク集を利用するのが便利である。

b) 統合的なサービスを使う

出版元等が提供する統合的なサービスの主なものとしては、以下のものがあり、一部については筑波大学として利用契約を結んでいるので、有効に利用されたい。

(1) HighWire Press <http://intl.highwire.org>

Stanford大学の提供するサービスで、無料で利用可能である。医学・生命科学関連のジャーナルも充実しており、特にEBM関連の記事が多く掲載されているBMJ(British Medical Journal)の電子ジャーナル版であるeBMJ <http://www.bmj.com/> もここに含まれており、電子ジャーナル入門には最適である。

(2) ScienceDirect <http://www.sciencedirect.com/>

ElsevierScience社とその関連出版社が作成している1100誌以上のジャーナルが提供されており、出版社が提供するサービスとしては最も規模が大きく、臨床医学関連のジャーナルも200誌程度と充実している。このサービスの利用方法は、『つくばね』25巻1号に詳しい。また2000年度は筑波大学として利用契約をしているので、全ての機能を利用することができる。

(9ページに続く)

図書館 **便利** マップ

こんな時はこちらへどうぞ

各館のカウンター取扱業務がひと目でわかる便利マップを作ってみました。

このマップを片手に図書館を散策してみてもいいかもしれませんか？

中央図書館

視聴覚メディア室



- ビデオ・CD・LD
を利用したい
- マイクロ資料を利用したい

レファレンスデスク



- 本や雑誌の探し方を知りたい
- あるテーマについての資料を集めたい
- 電子図書館の利用の仕方がわからない
- オリエンテーションの申込みをしたい
- 他大学の資料を取り寄せたい
- 他大学の図書館を利用したい
- 図書館に置いて欲しい図書がある

ボランティア カウンター

- どのカウンターに行けばよいかわからない
- 身体に障害があるので手伝って欲しい
- 日本語が苦手なのでゆっくり説明して欲しい

相互利用係

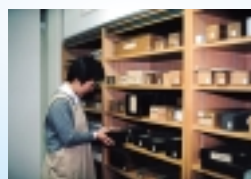
- 他大学に頼んだ資料を受け取りたい
- コピー機がうまく動かない

メインカウンター

- 図書館の利用全般について知りたい
- 本を借りたい・返したい
- セミナー室などを使いたい
- 落とし物をした・拾った



古典資料事務室



- 貴重書や和装本を見たい



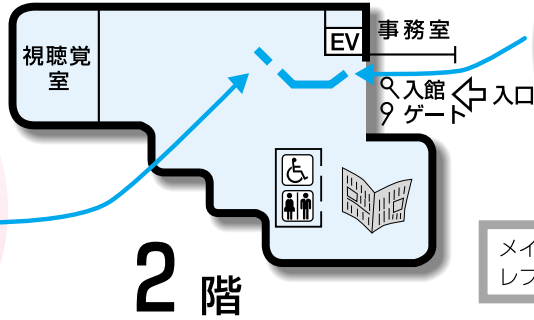
電話番号一覧

メインカウンター	53-6055
レファレンスデスク	6056
視聴覚メディア室	2365
相互利用係	2373
古典資料事務室	6051

体育・芸術図書館

レファレンスデスク

- 本や雑誌の探し方を知りたい
- あるテーマについての資料を集めたい
- 電子図書館の利用の仕方がわからない
- オリエンテーションの申込みをしたい
- 他大学の資料を取り寄せたい
- 他大学の図書館を利用したい
- 図書館に置いて欲しい図書がある
- 他大学に頼んだ資料を受け取りたい
- マイクロ資料を利用したい
- コピー機がうまく動かない



メインカウンター

- 図書館の利用全般について知りたい
- 本を借りたい・返したい
- セミナー室などを使いたい
- 落とし物をした・拾った
- ビデオ・CD・LDを利用したい

メインカウンター 53-2878
レファレンスデスク 2865

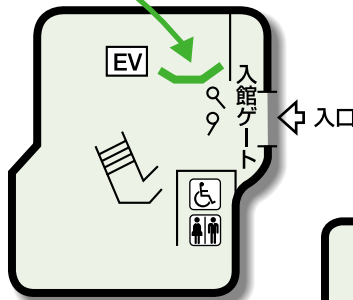


医学図書館

メインカウンター

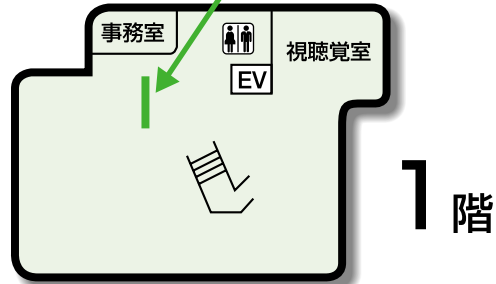
- 図書館の利用全般について知りたい
- 本を借りたい・返したい
- セミナー室などを使いたい
- 落とし物をした・拾った
- ビデオ・CD・LDを利用したい

2階



レファレンスデスク

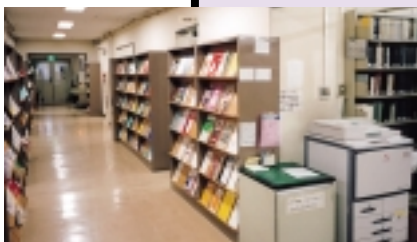
- 本や雑誌の探し方を知りたい
- あるテーマについての資料を集めたい
- 電子図書館の利用の仕方がわからない
- オリエンテーションの申込みをしたい
- 他大学の資料を取り寄せたい
- 他大学の図書館を利用したい
- 図書館に置いて欲しい図書がある
- 他大学に頼んだ資料を受け取りたい
- コピー機がうまく動かない



1階

メインカウンター 53-3256
レファレンスデスク 3031

大塚図書館



カウンター

○なんでもここに聞いて下さい!

カウンター : 03-3942-6818
5819

利用できる時間は？

中央, 体育・芸術, 医学図書館

月曜日～金曜日 9:00～22:00

土曜日, 日曜日, 祝休日 13:00～18:00

体育・芸術図書館は日曜日休館

大塚図書館

月曜日 9:00～17:00

火曜日～金曜日 13:00～21:10

土曜日 13:00～19:50

各館とも, 春季及び夏季休業中には開館時間が短縮されます。

入館するには？

図書館の入口には, 入館管理装置があります。装置のセンサー部分に身分証のバーコードを読み取らせ OK の表示を確認して入館してください。

学生証・職員証を忘れずに！

図書の貸出を受けるには？

貸出を希望する図書に, 学生証か職員証を添えてメインカウンターに申し出てください。

・受付時間

中央, 体育・芸術, 医学図書館

月曜日～金曜日 10:00～20:00

大塚図書館

月曜日 10:00～17:00

火曜日～金曜日 13:00～21:10

土曜日 13:00～19:50

春季及び夏季休業中には受付時間が短縮されます。

・貸出冊数および期間

学群学生 5冊 3週間

大学院学生 10冊 //

教員 30冊 //

詳しくは利用案内を御覧ください。

図書館の図書や雑誌のコピーをとるには？

複写機そばに設置されている申込書に記入してコピーしてください。料金は1枚10円です。

なお, 教職員の校費扱いのものについては予算登録による専用カードが必要になります。詳しくは相互利用係(2373)までお問い合わせください。

・各館複写機設置場所

校 校費用(白黒) 校 校費用(カラー)

私 私費用(白黒) 私 私費用(カラー)

中央図書館

1階 本館エレベーター前 校 私

2階 本館北側受贈誌コーナー奥 私 私

本館ラウンジ入口 校

本館本学関係資料室前 校

3階 本館ラウンジ内 校 私

| 新館西側奥 校 私

5階

体育・芸術図書館

1階 中央北側 私

中央南側 校

2階 エレベーター北側 私 私

メインカウンター正面 校

医学図書館

1階 視聴覚室入口横 私

東側奥タイプ室横 校

階段横 校

大塚図書館

カウンター横 私

新着雑誌架横 校 大塚地区所属の方のみ

オリエンテーション案内

図書館では, 前期(4月～6月頃)と後期(9月～10月頃)の2回に分けて, TULIPS(電子図書館), 文献の探し方などのオリエンテーションを行っています。御希望の方は, 各図書館のレファレンスデスクまでお申込みください。

平成12年度筑波大学附属図書館開館日カレンダー

中央・体芸・医学図書館

4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

無印 9 : 00 ~ 22 : 00
 中央・体芸 9 : 00 ~ 17 : 00
 医学 9 : 00 ~ 20 : 00

13 : 00 ~ 18 : 00
 中央・医学 13 : 00 ~ 18 : 00 体芸休館
 休館

大塚図書館

4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

無印 13 : 00 ~ 21 : 10
 9 : 00 ~ 17 : 00

13 : 00 ~ 19 : 50
 休館

臨時休館等の場合は掲示でお知らせします。

(4ページより)

(3) IDEAL <http://www.idealibrary.com/>

Academic Press 社, W.B. Saunders 社, Churchill Livingstone 社によって提供されているサービス。医学・生命科学関連では80誌程度の利用が可能である。2000年度については, 利用契約を行なう予定であり, 全ての機能が利用できることになる。

(4) LINK <http://link.springer.de/>

Springer-Verlag 社とそのグループが提供するサービスで, 医学・生命科学関連では180誌程度の利用が可能である。筑波大学で購読している雑誌については, 全文の参照が可能である。

(5) InterScience

<http://www.interscience.wiley.com/>

John Wiley & Sons 社の提供するサービスで, 医学・生命科学関連では100誌程度の利用が可能である。筑波大学で購読している雑誌については, 全文の参照が可能である。

(6) FirstSearch Electronic Collections Online

<http://www.oclc.org/oclc/menu/eco.htm>

OCLC 社の提供するサービスで, 50の出版社による2200誌の情報を FirstSearch というデータベースとリンクさせて提供する。(下記, Ask Us 記事参照)

(7) CatchWord <http://www.catchword.co.uk/>
CatchWord 社が提供するサービスで, 32の出版社の390誌の情報を提供するが, 医学・生命科学関連では120誌程である。RealPage という専用のソフトウェアが用意されている。

(8) Current Contents Connect

<http://connect.isihost.com/>

ISI 社の提供するサービスで, Current Contents と連携し, 各出版社の提供する1次情報とのリンクがなされている。

(9) SilverLinker

<http://www.silverplatter.com/silverlinker/>

SilverPlatter 社の提供するサービスで, 自身では1次情報はもたず, 各出版社や各施設で提供している1次情報に直接リンクをつける機能を備えている。

(10) ProQuest <http://www.umi.com:8090/proquest/>

Bell & Howell Information and Learning 社(旧 UMI 社)の提供するサービスで, 保健医療関係の約400誌の情報を提供。

(たかだ・あきら 臨床医学系助教授)

ASK US としょかんミニガイド

FirstSearch について

Q: 図書館のホームページから論文検索をしようとしたら, FirstSearch というメニューがありました。これはどういうものですか?

A: FirstSearch というのはデータベースシステムの名称です。アメリカの OCLC (Online Computer Library Center) が提供しているオンラインデータベースシステムで, インターネットを通じて WWW ブラウザ上で, 人文, 社会, 経済, 科学, 工学, 医学など様々なジャンルの欧文データベースを検索することができます。

筑波大学からは, FirstSearch で提供されているデータベースのうち約50種類のデータベースをご利用いただけます。図書館内ではもちろん, 研究



図1 FirstSearch の案内ページ

室など、学内の端末からアクセスできます。

FirstSearch で利用できるデータベースの一例を次に示します。

Art and Humanities Search (人文科学)
Art Abstracts (芸術)
PsycFIRST (心理学)
PCI-Periodicals Contents Index (人文社会)
Index to Legal Periodicals & Books (法学)
Econlit (経済学)
BasicBIOSIS (生物, 生命科学)
AGRICOLA (農学)
GEOBASE (地球科学)
Applied Science & Technology Abstracts(応用科学)

各データベースの内容、収録年代等の詳細につきましては「FirstSearch データベース一覧」をご覧ください。(<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/reference/fs-db.html>)

Q : 検索方法を教えてください。

A : それでは、検索手順を簡単に説明いたします。

1. 利用者認証

検索画面へは、まず筑波大学電子図書館のトップページ(<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/>)を開き、「学術論文情報データベース」「FirstSearch」とリンクをたどります。

FirstSearch の案内のページ(図 1)になりますので、「FirstSearch への接続」をクリックします。

新しいブラウザが開いて「FirstSearch 利用者認証」という画面が現れます。画面の指示に従って利用者 ID を入力してください。認証後、自動的に FirstSearch に接続して「FirstSearch Home」という画面が現れます。この Home 画面上で検索を行うことができます。

2. データベースの選択

FirstSearch のセッションに入ったら、まず、検索主題にあったデータベースを選択する必要があります。先に挙げた「FirstSearch データベース一覧」のページなどを参考にして選択してください。データベースの選択は一回の検索時に1つです。

「FirstSearch Home」の画面には2つのメニューがあります。右側の「Search a database」は実際に検索を行うためのメニューです。利用するデータ

ベースが決まっていれば、テキストボックス下のプルダウンメニューよりデータベースを選択し、テキストボックスにキーワードを入力して [Search] ボタンをクリックすると、選択したデータベースでの検索が行われます。

どのデータベースを選択すればよいかわからない場合には、Home 画面左側の「Suggest best databases」のメニューを利用します。このメニュー上で、テキストボックスにキーワードを入力し、プルダウンメニューよりカテゴリを選択して [List] ボタンをクリックすると、カテゴリに該当する複数データベースでのヒット件数が列挙されます。この結果をもとに、入力したキーワードにふさわしいデータベースを選択することができます。データベースは雑誌論文を収録したものばかりではありません。WorldCat のように図書館の所蔵目録も含まれています。ヒット件数とあわせて、データベースの内容にも注意して選択してください。

3. 検索方法

検索は基本的に、テキストボックスにキーワードを入力し、チェックボックスなどで検索条件を指定して [Search] ボタンをクリックするという方法で行います。検索が行われ、ヒット件数とヒットレコードの簡単なリストが表示されます。

キーワードは単語単位で入力します。2つのキーワードをともに含む文献を探すときは、キーワードの間に and を入力してください。2語以上からなるフレーズで検索する場合には、文字列を"" (ダブルクォーテーション) でくくります。

入力したキーワードと、データベース内で採択されている用語とは必ずしも一致しないため、キーワードによっては文献がうまくヒットしないことがあります。

検索結果が思わしくない場合は、「Suggest best databases」メニューでキーワードにふさわしいデータベースを選択し直したり、またデータベースによってはシソーラスというキーワード辞書が用意されていますので、これを用いて適切なキーワード (Subject Heading) を探して検索してください。シソーラスを検索するには、画面左フレーム部分 (青色の部分) の「Databases」メニューで

検索したいデータベースが選択されていることを確認した上で、「Searching」メニューを選択すると、「Basic Search」という検索画面が開きますが、この画面の右上に[Subjects]というアイコンが出ている場合には、シソーラスを検索できます。

キーワードの選択に留意して、効率の良い検索を行ってください。

4. 結果表示

検索後の「List of Records」画面で各タイトルの部分をクリックすると、詳細情報が表示されます。

印刷する場合は、画面右上の[Print]というアイコンをクリックしたあと、ブラウザの印刷機能

を使って印刷してください。

5. 終了

検索終了後は、画面左フレームのメニューより「Exit」をクリックしてセッションを終了し、検索に利用したブラウザを閉じてください。

操作方法の詳細につきましては、次のホームページ上をご参照ください。

(<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/reference/fs/fshelp.html> は、学内からのみご覧になれます。)

データベースの選択や操作方法などは、各館レファレンスデスクまでお気軽にお尋ねください。

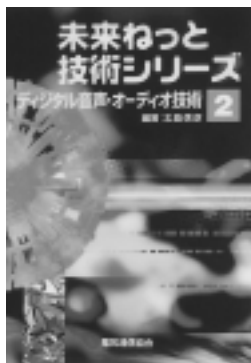
私の一冊

北脇信彦

「デジタル音声・オーディオ技術

未来ねっと技術シリーズ 2」

北脇信彦編著（オーム社）〔中央図 547.33-Ki73〕



携帯電話の加入数が固定電話を上回る勢いで伸びている、音楽はネットワークによる配信が主流になるかもしれないなど、マルチメディア通信技術が社会の仕組みを大きく変えようとしている。デジタル音声・オーディオ技術は、このようなマルチメディア社会を支える重要な基盤技術である。その出発点は、1948年に発表された Shannon の論文 “A mathematical theory of communication” であろう。Shannon はこの中で情報源符号化及び通信路符号化の理論について述べた。しかし、その後50年の符号化法に関する理論の発展とその応

用は、Shannon の予想をはるかに上回るものだったに違いない。

私が筑波大学に来る前に勤めていた会社で、入社したときに薫陶を受けた板倉文忠博士（現名古屋大学教授）は、世界ではじめて音声の分野に統計的デジタル信号処理理論を持ちこみ、低ビットレートでの音声符号化方式を実現させた。この流れを受け継ぎ、私たちのグループでは、インターネットなどで用いられている ITU 国際標準音声符号化方式、MPEG 国際標準音楽符号化方式、わが国の携帯電話標準音声符号化方式などを開発した。この本は、これらの方式の発明に携わった研究者たちが分担執筆したものである。

この本では、音を收音し、伝送・蓄積・処理し、再生する一連の過程をトータルなシステムとして捉えて述べるとともに、それぞれの要素技術を体系的に解説している。第1章では未来ネットワーク時代に向けたデジタル音声・オーディオ技術の果たす役割と基礎技術、第2章は音声・オーディオ信号の符号化、第3章では未来通信システムを構築する上で必要となるデジタルオーディオ・音響技術について、具体的システムイメージを示しながら述べている。お役に立てれば幸いである。

（きたわき・のぶひこ 電子・情報工学系教授）



本学教官寄贈著書紹介

平成11年11月～平成12年1月に寄贈を受けた本学教官の著書を紹介いたします。

(敬称略，寄贈者五十音順，〔 〕内は配架場所と配架番号です。)

明石紀雄 (歴史・人類学系)

- ・トマス・ジェファソンと「自由の帝国」の理念．新装版．ミネルヴァ書房，1999 (Minerva 西洋史ライブラリー：35)〔中央 253-A32〕

北脇信彦 (電子・情報学系)

- ・デジタル音声・オーディオ技術．電気通信技術協会，1999 (未来ねっと技術シリーズ：2)〔中央 547.33-Ki73〕

- ・音のコミュニケーション工学．コロナ社，1996 (音響テクノロジーシリーズ)

〔中央 547.3-Ki73〕

駒井洋 (社会科学系)

- ・日本の外国人移民．明石書店，1999 (明石ライブラリー：11)〔中央 334.41-Ko57〕

宮本定明 (機能工学系)

- ・クラスター分析入門．森北出版，1999

〔中央 417-Mi77〕

山川隆一 (社会科学系)

- ・雇用関係法．第2版，新世社，1999 (新法学ライブラリ)〔中央 336.14-Y27〕



とぴらくす

〔学内〕

第223回附属図書館運営委員会 (12月開催)

〔審議事項〕 教育用計算機システムの更新に伴う端末設置希望について

〔報告事項〕 国立大学図書館協議会理事会 (平成11年度第3回) について 附属図書館ボランティアとの懇談会について 平成11年度附属図書館防災訓練の実施について 平成11年度国際交流基金司書日本語研修参加者の研修について 電子ジャーナルの提供状況について 教育改善費 (学

長裁量経費) の示達について 体育科学系・附属図書館共催特別展「身体と遊戯へのまなざし～日本近代体育黎明期の体操伝習所 (明治11年 - 19年)～」について 雑誌の製本期間について

第224回附属図書館運営委員会 (1月開催)

〔審議事項〕 平成12年度附属図書館年次計画案の策定について 収蔵スペースの狭隘化とその対策について 電子ジャーナルの導入について

〔報告事項〕 安全管理状況の査察結果について



掲示板

IDEAL サービスの利用について

4月から，IDEAL が利用できるようになります。

IDEAL は “the International Digital Electronic Access Library” の略で，Academic Press, W.B. Saunders, Churchill Livingstone 発行の約250誌の全

文を見ることができる，電子ジャーナルシステムです。

詳しくは下記をご覧ください。

URL

<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/online-j/>

筑波大学附属図書館報 第25巻 第4号 (通巻98号) 2000年3月21日 筑波大学図書館部発行

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 電話 0298-53-2347

URL <http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/>

